

1. 序

これまで、一つの量とか、二つの量の間をみてきた。しかし、我々の生活の中ではある決断をする際、複数のことを考えてする場合が一般的である。このある決断をする際、様々な要素を考えることを解析するのが多変量解析である。

例えば、どのレストランへ行くのかを考える。その場合、あるレストランの種類、メニュー、値段、スタッフの接客、レストランの雰囲気を考えるであろう。店を選択するかどうかを目的変数、レストランを選択する際に考慮するレストランの種類、メニュー、値段、スタッフの接客を説明変数とする。説明変数が一つしかない場合は単純である。その中の一番高得点のレストランを選ぶことになる。説明変数が複数存在する場合が複雑である。この場合、人はどのレストランを選択するのであるか？

ここでは、このような場合に相当する多変量解析を扱う。